

トマト栽培における環境制御技術検討会開催

【平成 30 年 11 月 2 日掲載】

平成 30 年 10 月 26 日に「サテライトキャンパスひろしま」において、冬春トマト栽培に取り組んでいる生産者（参加 13 名，4 法人）を対象とした環境制御技術検討会を開催しました。

環境制御技術とは，作物の生育に重要な「温度」「湿度」「光」「CO₂（二酸化炭素）」「養水分」などの環境要因を適正な状態にコントロールして収量や品質などを高める技術です。今回の検討会では，生産者の取組の報告と農業技術センターや農業技術指導所から最新の情報を提供しました

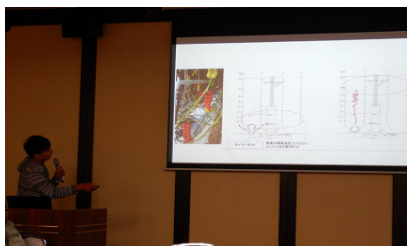
（農）たから島ファーム（水場光輝（みずば みつてる）代表理事，構成員 5 戸，栽培面積 1.7 ha）では，目標とする「お宝とまと（樹上完熟トマト）」の生産に向けて，4 年前から環境測定機器を導入してハウス環境データを数値で把握し，測定しているトマトの生育と考え合わせ



【熱心に意見交換を行うトマト生産者】

て，栽培技術向上やハウス管理の改善に取り組んでいます。（株）NKコーポレーション（西坂和真（にしざか かずまさ）代表取締役，栽培面積 0.47ha）では，独自ブランド「王様トマト」の周年栽培に取り組んでおり，冬期の光透過の向上やCO₂施用による光合成能力の強化に加え，高温期の適正温度管理に向けた新たな取組を検討中です。農業技術センターは，「自動調光システム」の開発や誘引方法省力化に向けた研究成果を紹介しました。

参加者から多くの意見も出され，環境制御技術に対する高い関心が感じられました。当所はこうした技術の有効活用を通して，トマト産地や生産者のさらなる経営発展を支援していきます。



【栽培状況の情報提供】

左：（農）たから島ファーム

右：（株）NKコーポレーション

情報提供元

西部農業技術指導所